

報道関係者 各位

2022年8月24日  
一般社団法人 日本BPO協会  
専務理事 新宅 友穂  
電話：03-6721-5361  
URL：<https://www.bpo.or.jp>

## 2022年7月度 製造請負・派遣事業動向調査結果

一般社団法人 日本BPO協会は、製造請負・派遣業の事業主団体として、会員企業を対象に製造請負・派遣業に関する業況判断等について四半期ごとに定期調査を実施しております。2021年4月に第1回を実施し、今回で46回目となります。

2022年7月度の調査結果を下記のとおり取りまとめました。

### 業況判断D Iはプラス24と、改善傾向が続く

～ 人材需要は旺盛であるが、人材確保はより一層困難な状況 ～

#### 【調査結果のポイント】

##### 1. 業況判断等

(1) 2022年7月の業況判断D I（「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス24で、2022年4月度調査（プラス26）を2ポイント下回っている。

先行き（3か月後）の業況判断D Iはプラス15となっている。

(2) 取引先数判断D I（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス29で、2022年4月度調査（プラス42）を13ポイント下回っている。

先行き（3か月後）の取引先数判断D Iはプラス30となっている。

(3) 雇用人員判断について、スタッフ社員判断D I（「不足」と回答した企業の割合から「過剰」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス95で、2022年4月度調査（プラス91）を4ポイント上回っている。

また、プロパ社員判断D Iはプラス45で、2022年4月度調査（プラス44）を1ポイント上回っている。

先行き（3か月後）のスタッフ社員判断D Iはプラス92となっている。

#### ※用語の説明

【スタッフ社員】：製造業務等に直接従事する労働者

【プロパ社員】：製造業務等には直接従事しないで、営業部門や管理部門等、間接業務に従事する労働者

#### ※D I値について

本調査におけるD Iとは、各調査項目についての判断の状況を示す。例えば、業況判断D Iは、ゼロを基準として、プラスの値は業況の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値は業況の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

##### 2. 売上額・雇用人員

(1) 回答企業の2022年4～6月期売上額の対前年同期比増減率は14.3%増であった。

(2) 回答企業の2022年6月末現在の雇用人員数は147,735人であった。

## 【調査の概要】

### 1. 調査の目的

四半期ごとに、会員企業の製造請負・派遣業に関する業況判断、売上げ動向、雇用人員等の事項について調査することにより、製造請負・派遣業の現状を明らかにし、事業運営に役立てるとともに、取引先はじめ関係の皆さまに業界の実情をご理解いただくことを目的とする（2011年4月から調査開始）。

### 2. 調査時期

この調査は、2022年6月30日現在の状況について、2022年7月12日から7月26日に実施した。

### 3. 調査の対象

当協会の正会員（92社）を対象とした。回答企業数66社、回答率71.7%。

### 4. 結果表 別紙

## 【結果の概要】

### 1. 業況判断等

#### (1) 業況判断

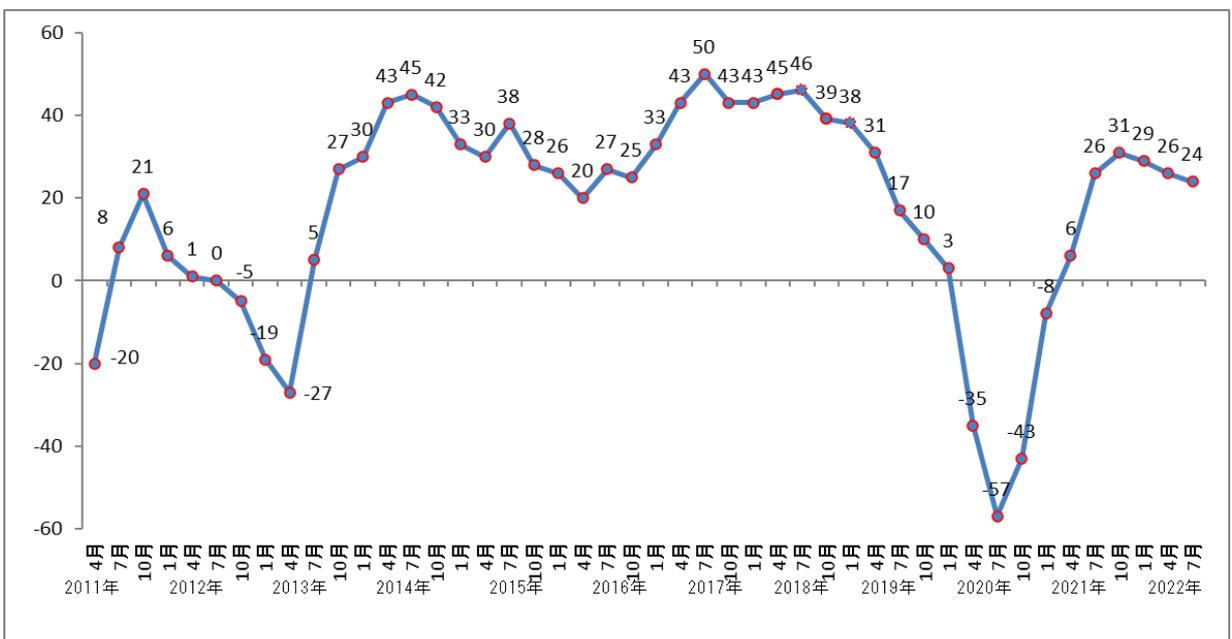
2022年7月の業況判断DI（「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス24で、2022年4月度調査（プラス26）を2ポイント下回った（図1）。

判断材料として、新型コロナウイルス感染症の影響による部品供給不足の継続等のため、生産調整や休業が生じている業種がある。また、人材確保はより一層困難となっている。

#### 【最近の業況】の判断例（調査票の「業況判断の理由」欄から抜粋）

- ・中国のロックダウンによる取引先企業への影響は回復傾向にあるが、影響は継続しており、一部で休業等が生じている。前3か月と比較すると、回復がやや鈍化している。
- ・ロシア・ウクライナ情勢や上海のロックダウン等の影響により、取引先企業において部品調達難が発生し、一部で生産調整等といったマイナスの影響があった。
- ・受注は、医療、食品、物流関連の分野で高い伸びを示しているが、自動車関連、電機、精密機器関連については横ばいが続いているため、全体の業況はさほど良くない。
- ・自動車関連は部品不足の影響が続き、生産が回復していない。半導体関連では増産が続き、新たなオーダーも出てきている。業種によって繁閑があるが、全体的には人材需要が増えている。

（図1）製造請負・派遣業況判断DIの推移



先行き（3ヵ月後）の業況判断D Iはプラス15であり、直近の業況判断（プラス24）を9ポイント下回っている。

判断材料として、国内外における新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢の影響が懸念されている。取引先の生産回復による人材需要の高まりが予想されるが、採用難、人材不足は継続すると見込まれている。

**【先行きの業況】の判断例**（調査票の「業況判断の理由」欄から抜粋）

- ・中国のロックダウンの影響は収束傾向にあるが、挽回生産ができるレベルには至らないと見ている。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による国内経済への影響や自社事業活動への影響も懸念している。
- ・引き続き半導体不足や部品不足が大きく影響すると予想するが、半導体関連の生産が旺盛な状況にあり、全体として人材需要はプラスに推移する見込み。
- ・半導体関連、自動車関連の一部取引先で生産調整による人員削減はあるものの、全体的には受注は増加傾向となる見込み。
- ・局所的ではあるが、原価高騰による取引先の方針転換で取引終了案件が生じており、影響を身近に感じている。

**(2) 取引先数判断**

2022年7月の取引先数判断D I（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス29で、2022年4月度調査（プラス42）に対して13ポイント下回った。

先行き（3ヵ月後）の取引先数判断D Iは、プラス30となっている。

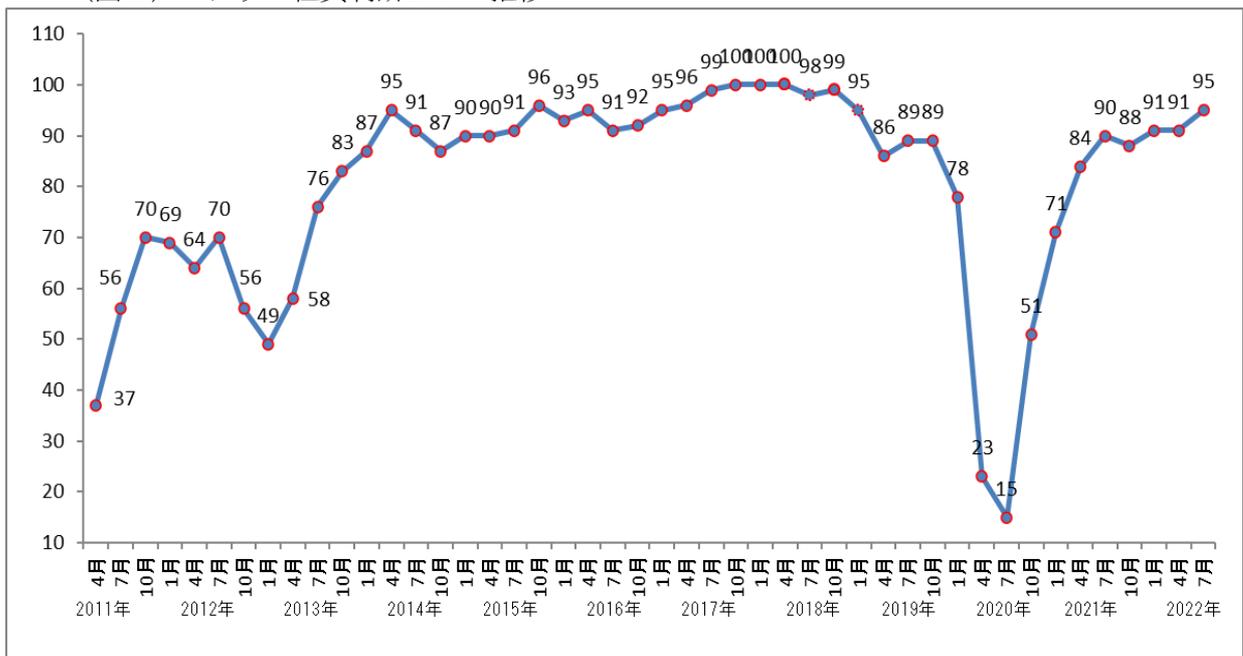
**(3) 雇用人員判断**

**① スタッフ社員**

2022年7月のスタッフ社員判断D I（「不足」と回答した企業の割合から「過剰」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス95で、2022年4月度調査（プラス91）を4ポイント上回った（図2）。6四半期連続でプラス80を超え、プラス95となったのは、2019年10月度調査以来。

先行き（3ヵ月後）のスタッフ社員判断D Iはプラス92となっている。

（図2）スタッフ社員判断D Iの推移



## ② プロパ社員

2022年7月のプロパ社員判断D I（「不足」と回答した企業の割合から「過剰」と回答した企業の割合を引いた数値）はプラス45で、2022年4月度調査（プラス44）に対して1ポイント上回った。

先行き（3か月後）のプロパ社員判断D Iはプラス42となっている。

## 2. 売上額・雇用人員

### (1) 売上額

回答企業68社の2022年4～6月期売上額の対前年同期比増減率は14.3%増であった。

回答企業の規模別で見ると、A群（売上高10億円以上）が15.0%増、B群（売上高10億円未満）が5.9%増となっている。

会員企業の売上額の対前年同期比増減率の分布をみると、0～9%増が37.9%で最多となっており、次いで、10～19%増が30.3%、20%以上増が15.2%となっている。増減率がプラスとなった企業割合は、83.4%となった。

### (2) 雇用人員

回答企業66社の2022年6月末現在の雇用人員数は147,735人であった。

内訳を見ると、スタッフ社員が138,901人で、雇用人員全体の94.0%を占めている。スタッフ社員の内訳は、労働者派遣により就業する社員が110,478人（スタッフ社員全体の79.5%）、請負等の現場に就業する社員が28,423人（同20.5%）となっている。

プロパ社員は8,834人、全雇用者のうち外国人労働者は17,480人となっている。

以上

(別紙)

## 製造請負・派遣事業動向調査 結果表－2022年7月度調査

一般社団法人日本BPO協会

## 1. 判断項目

## (1) 業況判断

(%ポイント)

規模区分 社数	区分	2022年4月調査		2022年7月調査			
		最近	先行き	最近	先行き		変化幅
					変化幅	変化幅	
A群 28 (30)	良い	47	20	43	-4	21	-22
	さほど良くない	50	73	57	7	75	18
	悪い	3	7	0	-3	4	4
	業況判断DI	44	13	43	-1	17	-26
B群 38 (38)	良い	21	24	21	0	29	8
	さほど良くない	71	66	68	-3	55	-13
	悪い	8	11	11	3	16	5
	業況判断DI	13	13	10	-3	13	3
合計 66 (68)	良い	32	22	30	-2	26	-4
	さほど良くない	62	69	64	2	64	0
	悪い	6	9	6	0	11	5
	業況判断DI	26	13	24	-2	15	-9

- (注) 1. 「良い」、「さほど良くない」及び「悪い」の各数値は、回答社数に占めるそれぞれの回答割合(%)を示す。  
 2. 「業況判断DI」は、「良い」(回答社数構成比)－「悪い」(回答社数構成比)。  
 (以下、取引先数判断及び雇用人員判断についても同様。)  
 3. 「最近」は回答時点を、「先行き」は3ヵ月後を示す。  
 4. 「最近」の変化幅は、前回調査の「最近」との対比。「先行き」の変化幅は、今回調査の「最近」との対比。  
 5. 規模区分は2022年1～3月期の売上げ額が10億円以上の企業をA群、10億円未満の企業をB群とした。  
 6. 社数欄は2022年7月調査の回答企業数、カッコ内の数値は2022年4月調査の回答企業数を表す。  
 7. 全ての回答割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100%にならない。

## (2) 取引先数判断

(%ポイント)

規模区分 社数	区分	2022年4月調査		2022年7月調査			
		最近	先行き	最近	先行き		変化幅
					変化幅	変化幅	
A群 28 (30)	増加	53	30	43	-10	36	-7
	ほぼ同じ	47	63	54	7	61	7
	減少	0	7	4	4	4	0
	取引先数判断DI	53	23	39	-14	32	-7
B群 38 (38)	増加	39	47	29	-10	37	8
	ほぼ同じ	53	45	63	10	55	-8
	減少	8	8	8	0	8	0
	取引先数判断DI	31	39	21	-10	29	8
合計 66 (68)	増加	46	40	35	-11	36	1
	ほぼ同じ	50	53	59	9	58	-1
	減少	4	7	6	2	6	0
	取引先数判断DI	42	33	29	-13	30	1

## (3) 雇用人員判断

## 1) スタッフ社員

(%ポイント)

規模区分 社数	区分	2022年4月調査		2022年7月調査			
		最近	先行き	最近	先行き		変化幅
					変化幅	変化幅	
A群 28 (30)	不足	93	90	100	7	89	-11
	適正	7	10	0	-7	11	11
	過剰	0	0	0	0	0	0
	スタッフ社員判断DI	93	90	100	7	89	-11
B群 38 (38)	不足	89	92	92	3	95	3
	適正	11	8	8	-3	5	-3
	過剰	0	0	0	0	0	0
	スタッフ社員判断DI	89	92	92	3	95	3
合計 66 (68)	不足	91	91	95	4	92	-3
	適正	9	9	5	-4	8	3
	過剰	0	0	0	0	0	0
	スタッフ社員判断DI	91	91	95	4	92	-3

## 2)プロパ社員

(%ポイント)

規模区分 社数	区分	2022年4月調査		2022年7月調査			
		最近	先行き	最近	先行き		変化幅
					変化幅	変化幅	
A群 28 (30)	不足	67	50	68	1	57	-11
	適正	33	48	32	-1	43	11
	過剰	0	3	0	0	0	0
	プロパ社員判断DI	67	47	68	1	57	-11
B群 38 (38)	不足	37	42	37	0	39	2
	適正	53	47	55	2	53	-2
	過剰	11	7	8	-3	8	0
	プロパ社員判断DI	26	31	29	3	31	2
合計 66 (68)	不足	50	46	50	0	47	-3
	適正	44	47	45	1	48	3
	過剰	6	7	5	-1	5	0
	プロパ社員判断DI	44	39	45	1	42	-3

## 2. 四半期項目

## (1)2022年4～6月期の売上額に関する対前年同期比増減率

規模区分		A群	B群	合計
企業数		28	38	66
対前年同期比増減率		15.0%	5.9%	14.3%
（増 減 成 率 比 分 布）	20%～	28.6%	5.3%	15.2%
	10%～19%	35.7%	26.3%	30.3%
	0%～9%	35.7%	39.5%	37.9%
	▲0%～▲9%	0.0%	15.8%	9.1%
	▲10%～▲19%	0.0%	10.5%	6.1%
	▲20%～	0.0%	2.6%	1.5%

## (2)雇用人員

2022年6月30日現在

労働者の属性	A群		B群		合計	
	労働者数 (人)	構成比 (%)	労働者数 (人)	構成比 (%)	労働者数 (人)	構成比 (%)
スタッフ社員数	126,945	94.3% (100%)	11,956	91.0% (100%)	138,901	94.0% (100%)
労働者派遣により 就業する社員数	101,584	75.5% (80.0%)	8,894	67.7% (74.4%)	110,478	74.8% (79.5%)
請負等の現場に 就業する社員数	25,361	18.8% (20.0%)	3,062	23.3% (25.6%)	28,423	19.2% (20.5%)
プロパ社員数	7,651	5.7%	1,183	9.0%	8,834	6.0%
総労働者数	134,596	100.0%	13,139	100.0%	147,735	100.0%
うち、外国人労働者数	15,657	11.6%	1,823	13.9%	17,480	11.8%

(注) 構成比のうち()内は、スタッフ社員数に占める労働者派遣により就業する社員数及び請負等の現場に就業する社員数の割合を表す。

以上